たぐちさんの家　５月運営推進会議録

日　時：　令和元年５月２３日（木）　１４：００～１５：００
場　所：　多世代交流スペース　どまっこ
参加者：

市村職員	●●●●●様（代理）
包括支援センター職員	●●●●●様
代表者	木村　信夫
管理課長	花田　優
管理者	武村　栄治

欠席者：	利用者代表	●●●●●様（都合）
	利用者家族代表	●●●●●様（通院）
	地域住民の代表	●●●●●様　●●●●●様（２名とも仕事の関係）
	ケアマネジャー	三澤　千賀子（業務の為）

〇委嘱状交付～参加者へセンター長から（他、後日渡しています）

１、センター長挨拶

・暑い中お集まり頂きありがとうございます。令和元年度１回目の会議になります。
　たぐちさんの家では、昨年秋から登録定員を 25 名となりましたが登録状況は 20 名前後でありました。皆様からの意見を参考にさせていただきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

２、「多機能サービスたぐちさんの家」について
（サービス利用状況・利用者の状況・活動報告・その他）
【平成 30 年度及び、４月実績～これまでの利用状況について】
平成 30 年度は 10 月からサテライトから通常の小規模多機能型へ変更し登録定員を 18 名→25 名にしました。宿泊部屋も６部屋→8 部屋に増えています。一番登録数が増えても 21 名でした。宿泊部屋は満室になることも冬場にかけて多くみられていました。利用形態（新規相談含め）は宿泊メインの方が多くなかなか登録数を伸ばせない状況が続いたり、冬場に入ると入院等により利用者様の入れ替えが多くありました。
平成 31 年４月
・新　規→０名（再開利用０名、退院０名、新規登録０名）
・終了者→０名（入院０名、施設入所０名、永眠０名、サービス切り替え０名）
・月末登録は 20 名（延べ 20 件）となっています。
・５月に入り新規１名受け入れしています。
【サービスの傾向】

・利用回数が少ない利用者様へ小規模多機能サービスの必要な支援に応じての料金等含め、他のサービスとの比較からその方へあったサービスへ切り替えを検討しています。在宅の居宅介護支援事業所への相談・連携をしています。

これまでと変わらない利用形態となっています。疥癬が流行してから通院が必要な利用者様が増えており、事業所での通院付き添いが増えている事が現状の課題です。１人暮らし、家族が遠方に住まわれている方等への対応が増え施設内の活動低下の影響が出ていると感じていますが、職員間同士、現状の中で出来る活動は何があるか？その活動をするために全員で協力し業務を回している状況がみられます。

今年度は新採用職員への人材育成に注力していることもあり、４月より新規採用した職員の業務への定着は順調に進んでいると思います。６月で異動職員（常勤）が１名おりますが、６月から６ｈパート１名採用となっております。人員が減ることと、慣れるまで時間がかかると思いますがゆっくり育成していきたいと考えています。

【お便り・活動から】

・３月はつるし雛の見物へ出掛けております。４月になると開所２周年記念を皆さんで祝い記念撮影をしております。また、たぐちさんの家を四季の貼り絵を作成し、飾っております。次回作も作成中です。

【その他　特記　事故・ヒヤリ～４月】

・事故～

① 服薬の空袋を他の利用者宅へ落としてきた。

② 預かり薬の所在忘れ。

③ 入浴忘れ。

一つ一つ、チェックする対応を周知しています。

〇質問

《花田課長→武村》

・要支援の方の、訪問の数（サービス量）が多いが、どんなサービス内容なのか？また、必要な事なのか？

→2 回／日の配食や服薬、ポータブル掃除など必要な支援での回数になります。やはり、高齢者世帯、１人暮らし、認知症になると要支援の方でも、食事や力仕事、服薬の管理の支援が必要に合っている現状です。

３．出席者（構成員）からの要望、意見

〇利用者代表から～特になし（事前聞き取り）

〇家族代表から～特になし（事前聞き取り）

〇地域住民代表から～後日聞き取り→防災訓練宜しくお願いします

〇鹿角市から

65 歳以上の高齢者世帯に緊急通報システムを推奨して設置頂いていたが、今年度見守り電話に変更していく。料金の一部を自己負担で変更出来る。以前から通報システムを利用していた方は、市から２万円、その他の方は１万５千円の助成があります。販売店にも

寄りますが、定価は２万３千円～2万８千円程度とのことです。もし、必要な方がいらっしゃいましたら子育て・長寿課へ相談お願いします。

〇地域包括支援センター職員から

これから外に出る機会が多くなると思うが、毛馬内の通りでも高齢者の運転には気をつけてほしい。

〇質問

《花田課長→鹿角市へ》

・人材確保に困っているが市としてはどんな取り組みがあるのか？

→介護の仕事フェアを開催し、講演や面接の機会をつくり高校生や地域住民に介護の仕事を広めている。他、介護ロボット体験等。

また、国の方では外国人受け入れもすすめている。

（センター長）外国人を受け入れるとしても、施設負担で住まいを準備して行かなくてはならない。市内の空き家情報などいただけると活用していきたい。

・引きこもりやニートの把握は市では出来ているのか？

→担当の課が違う為、はっきり返答出来ない。

４．その他

・避難訓練について

５月の自治会総会にて、地域住民の方の参加を促し協力してくれるとのこと。

当日（５／２４）は地域住民との交流の場としても良い機会と考えている。

５．次回開催予定日

・7月 19 日（金）or24 日（水）or26 日（水）を予定。

以　上